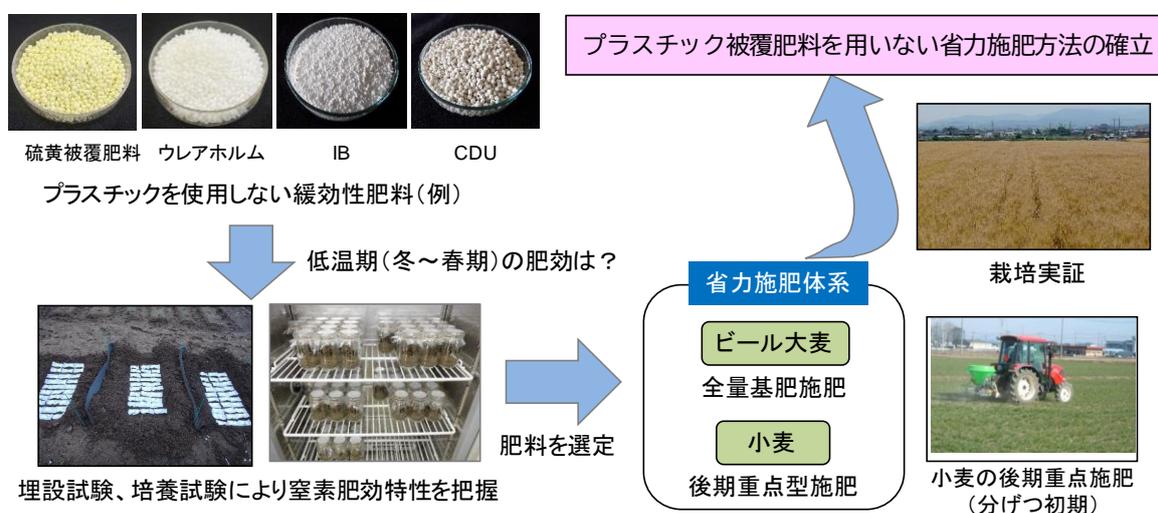


課題名：プラスチック被覆肥料を用いない麦類の省力施肥法の確立

(令7～9)

内容：水稲栽培と同様に、県下の麦類栽培においてもプラスチック被覆肥料が広く普及しており、被膜殻が河川や海洋へ流出することによる環境への影響が懸念されています。このため、プラスチックを使用しない緩効性肥料による代替施肥技術が求められている。そこで、プラスチックを使用しない緩効性肥料を用いたビール大麦及び小麦（日本麺用、パン用）の省力施肥技術を確立します。



[環境研究室HPへ](#)

[農業研究所HPへ](#)